

～平成24年度豊障連の行事～

第11回豊障連大会

6月16日(土) あいトピア 参加者200名

記念講演に、現在テレビコマーシャル等でも活躍中の辻イト子氏を迎え、知的障害のある長女の子育て秘話から、夫まがる氏との夫婦漫才まで、笑いと元気を会場いっぱいいただきました。

第11回豊障連大会



さくらピアサマースクール

8月8日(水)・10日(金) さくらピア
参加者76名

今年度は、2日間で4つの講座(ジャグリング体験・読み聞かせとクラフト・忍者ランド・音楽療法)を行いました。冷房の効いた快適な体育館では、ジャグリングを初体験したり、忍者のコスチュームを着て身も心も忍者になりきり、思いきり体を動かしました。また、思い思いの絵でマイカップを作ったり、実際に楽器に触れて音を感じたりと、様々な体験に子どもたちの目がキラキラ輝いていました。講座にちなんだお弁当が好評で、食べてしまうのがもったいないほど。みんなのあふれる笑顔に、スタッフ達もパワーをもらった2日間でした。毎年、形を変えながらも、子どもたちの心に寄り添った企画を考えていきたいです。



納涼夏祭り

8月25日(日) さくらピア 参加者350名

恒例の納涼夏祭りは、午後5時からさくらピアで開かれました。例年より少なめの参加者だった気もしますが、豊定会・青陵中・青陵中PTA・わたぼうし・豊通会・希望(のぞみ)といったいつものボランティアの面々に加え、今年度は、善銀の個人ボランティアの方にもご協力いただきました。体育館での盆踊りは、大好評で盛り上がりました。また、賑やかな模擬店は、去年よりも店の数が増えている、ヨーヨーつりも復活でき、人気をとり戻すことが出来たのが良かったです。夏の一夜を、みなさんのおかげで、とても楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

<豊聴協>



さくらピア避難所体験

9月29日(土)・30日(日) さくらピア
参加者294名

今年度で4回目となり、参加者の顔ぶれの広がりからも、防災意識の浸透を感じる事が出来ました。自衛隊の講演「災害救助最前線」では、普段あまり知られていない自衛隊の活動に加え、お互いに支えあう気持ちの大切さを再認識しました。また、夜の避難訓練は、初めての試みで、予想以上に不安で怖かったです。カレーライスの炊き出し体験、朝食の準備など、自分たちでできることは協力して行いました。こういった体験の積み重ねが、いざという時の行動にいかされるのだと思います。



ウエルネス 2012

10月8日(月・祝) 豊橋市総合体育館
参加者300名

例年通り、午前中からたくさんの子供たち、家族連れが車いす体験に参加しました。学校での福祉学習などで、車いす体験をする場も増えつつありますが、きちんとした使用法を理解している人は、意外と少ないものです。ひとりでも多くの人に正しい使い方の周知ができるように、指導する側としての意識・対応の統一化を図っていきたいです。

ウエルネス2012

車椅子体験

豊橋障害者(児)団体連合協議会

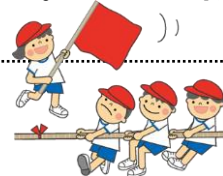


第12回豊障連体育祭

10月28日(日) さくらピア体育館
参加者250名

例年通り、ご来賓のみなさんの挨拶で始まりました。今年は、佐原市長も顔を出して下さいました。全体的に、前年より盛り上がりがあったように思います。ラジオ体操に続き、各競技にはいりました。借り物競争では、同じ方が何度も借り出され、走ってみえました。少々お気の毒にも思いましたが、ご本人は、とても楽しそうでした。午後からも、各競技をみんなで元気に行いました。今年も、怪我などなく無事に終わることができたのが、何よりでした。

<豊身連>



第12回豊障連さくらピア文化祭

11月18日(日) さくらピア 参加者350名

今年、豊障会館「開館30周年」の記念式典を取り入れて開催されたので、例年よりも盛り上がったように見受けられました。午後の式典には、佐原市長をはじめ、近田市議会議員、その他福祉関係者多数のお顔も見られました。会館設立当初の貴重なスライド映像をまじえ、いきさつの説明もありました。西野助役の生前のご尽力、熱意、資金援助により、昭和58年に全国にあまり例のない障害者のための会館が完成。当時の盛大な開所式典の写真も展示されており、懐かしいお顔もありました。現在、その会館を市からの委託で我々豊障連が企画・運営・管理を任せ、障害者のためにより良い環境整備に心がけ、誰もが楽しく利用出来るよう日々努力しています。障害者がいつでも気軽に会館を利用出来るのも、先人の努力のお陰です。文化祭も毎年この会場で、作品展示・カラオケ発表・バザーなどがあり、最後のビンゴゲームと菓子投げは、最高の盛り上がりで、今年も盛大に終了する事が出来ました。

<豊身協>



第7回ふくし体験発表会

12月8日(土) あいピア 参加者180名

豊橋市社会福祉協議会との共催で7回目を迎えたこの福祉イベントは、市内小中学校・高校・社会人に参加を呼び掛け、福祉体験発表を通して、市民の皆さんが福祉への関心を深め、様々な福祉場面へ参加してもらうことを目的として実施してきました。月1回のペースで実行委員会を開催、企画の段階から開催直前まで意見交換を重ね当日を迎えました。今回は汐田小・牟呂中の発表後に、豊橋マジッククラブのアトラクションで気分転換、豊橋養護・豊橋工業高の発表を行いました。当日実施をしたアンケートの結果、「80歳の高齢者ですが、望みをいただいた」「生徒さんが頑張っている姿を見て、大いに刺激を受けた」「自身も考えさせられる言葉がいくつもあった」等の感想の一方で、「会場への参加者が少なくてガッカリした」との意見もありました。これらの貴重なご意見を糧に、今後もより良き発表会を継続して開催することを目指してまいります。

<<すのき会>



豊橋北ライオンズクラブ&豊障連ボウリング大会

1月27日(日) 岩屋キャノンボウル 参加者200名

会員が毎年とても楽しみにしており、キャンセル待ちが出るほどの人気行事です。今年度は、北ライオンズさんのご厚意で、さらに15名の参加枠を増やしていただきました。各レーンには、歓声や笑顔があふれ、熱気の中で2ゲームがあっという間に終了しました。参加者の感謝の声を集めてみました。

<育成会>

ボウリングは、たのしかったです。よしえさんと一緒でうれしかったです。しょうひんももらえてうれしかったです。 山口あすか

ボウリングにいったとてもたのしかったです。はじめは、みぞにおちてしまいました。コーヒーもおいしかったな。 中神宣子

ボウリングは、みぞにおちてしまい、うまくできなかったけど、みんなと一緒よにいけないのしかったです。コーヒーももらい、おいしかったです。 鈴木良江



豊橋市民生委員児童委員協議会との懇談会

3月15日(金) さくらピア 参加者45名

障害者の地域生活・地域参加をテーマに行われ、様々な意見が出されました。

- ・豊橋市では、障害者の地域生活への移行推進としてグループホームの立ち上げに積極的だが、時代の流れなのか近隣の反対などはあまり聞かない。
 - ・孤独死等も増えているが、高齢者宅の訪問を増やして、一人でも安心して暮らせる地域作りが大切。
 - ・悩み事は、地域の民生委員にぜひ相談を。また、虐待防止に関しては、豊橋総合相談支援センター、豊橋市障害福祉課の相談窓口につなげてほしい。
 - ・社協から、個人情報の開示については、生命・財産に重大な影響を及ぼすような大災害直後は開示されるが、一定期間後は中止され、そこが問題である。
- 以上、有意義な意見交換会でした。 <父母の会>

